

平成 28 年度三重四河川災害対応連絡会 第 2 回宮川委員会議事概要

- 1 日 時：平成 28 年 10 月 17 日（月） 16:00～16:30
- 2 会 場：伊勢市役所 東庁舎 4 階 4-3 会議室
- 3 出席者：委員会構成員
伊勢市 鈴木健一市長
玉城町 辻村修一町長（代理：小林一雄副町長）
三重県 県土整備部 施設災害対策課 倉田正明課長
伊勢建設事務所 吉田 勇所長
松阪建設事務所 服部喜幸所長
気象庁 津地方气象台 日当智明台長（代理：松木晃一郎防災管理官）
国土交通省 三重河川国道事務所 川村謙一所長
- 4 議 事：1）第 1 回宮川委員会の議事概要等
2）宮川水系の減災に係わる取組方針（案）
3）今後のスケジュールについて
- 5 議事概要：

- ・雲出川水系の減災に係る取組方針（案）について確認し、了承を得た。

[出席者の主な発言]

- ・河川改修については、国、県の御尽力により住民が喜ぶ環境になってきており大変感謝している。早期完成するようお願いする。災害時の排水ポンプ車の派遣についても感謝している。宮川の内水対策が解決できていない中、排水ポンプ車の派遣は本当にありがたい。継続してご協力をお願いしたい。
→ 排水ポンプ車の派遣についてはあらかじめ計画を密にしておいて訓練を行っていくことを考えている。その際、住民の期待に応えるようにやっていくことも考える。一緒に検討していきたい。
- ・小学校区単位でのまちづくり協議会では防災が大きなテーマで、どこの協議会でも取り組んでいる。防災・防犯教育など命に関わることに對して地域の活動に強く意識を持っている。自然災害については、日々、地震や水害など様々な分野で研究が進んでいる。そのような研究成果の情報を与えてもらおうと、地元も新しい刺激となるので情報共有もお願いしたい。
- ・洪水浸水想定区域図については、県区間の作成もお願いしたい。現在でも図上訓練などを行っている。今後も継続的に実施し意識啓発を行っていく。
→ 宮川をはじめ県内の水位周知河川は沢山あるが、平成 35 年度までに水位周知河川の洪水浸水想定区域図については作成を進めて行く予定。
- ・このように顔を突き合わせて話をする機会は大変ありがたいので継続していただきたい。
- ・昨年度、地域防災計画を見直した。地域での防災力向上に力を入れている。今年度は、防災力が上がるように、また自助・公助が行えるように、自治体として全地区を回る予定。下外城田地区は過去に洪水氾濫を経験しているので、この地区が率先して地域の防災力を上げている。他地区では下外城田地区を見習い全体として地域防災力を向上するよう努めている。
- ・スマートフォンの活用によるリアルタイムでの情報提供、プッシュ型情報発信などについて、普段から气象台と共有し警戒情報などの発信にスマートフォンを活用している。国、県を交えて情報提供をお願いしたい。
- ・防災の見える化について、災害地域や浸水地域などが見えるようなデータの情報提供を密にお願いする。

以上

（事務局作成）